

2012年度協約・協定改訂第7回団体交渉 安全問題について議論

巨大地震被害予測に基づく対策を！懲罰的再教育はやめろ！「写経」はやめろ！乗務員を特定して添乗するな！酒気帯びの判断は検知器の数値に依れ！ATS-PTでの速度超過時は常用ブレーキとすること！ゴールデンハンマーとしての運用はやめろ！

本部は9月10日、協約・協定改訂第7回団体交渉を開催しました。今回は安全問題32項目について議論しました。主な議論内容は以下の通りです。

(■組合主張 □会社主張)

- 南海トラフ巨大地震被害予測に基づき対策を講じること。
- 自治体のハザードマップの改訂を待って対応する。
- 大津波警報発令中は列車の運転はしないこと。
- マニュアルに基づき適切に対応していく。
- 安全優先で処置した乗務員に対し、責任追及や懲罰的扱いはやめること。
- 報告等は求めるが懲罰的扱いはしていない。
- 懲罰的日勤再教育は止めること。
- 当社においては懲罰的再教育は一切無い。
- 精神的ダメージを受ける「写経」はやめること。
- 何かルールを覚えてもらうために書き写しを指示することはある。
- 特定の乗務員に添乗を繰り返すな。指摘をつくりだしてボーナスカットするな。
- おしなべて添乗している。指摘をつくりだしてのボーナスカットはしていない
- 酒気帯びの判断、乗務可否の判断はアルコール検知器の数値に依ること。
- 判断は管理者が適切に行っている。
- 人間は適切に判断出来ない場合があるから機械の数値に依れ。
- ATS-PTで速度超過した場合は常用ブレーキ動作とすること。
- 安全上必要だから非常ブレーキとしている。
- JR東は常用ブレーキだ。非常ブレーキはプレッシャーがかかる。
- 東は東、速度超過しないで運転するのが指導だ。
- ATS-PT導入で運転の作業量が増えた！
- 運転取り扱いは変わったが作業量は増えてはいない。
- 車両係を「ゴールデンハンマー」としての運用はやめること。技術係としてからB担務とすること。
- 職名と職務内容は一致しない。
- 責任だけ負わされて見合う賃金となっていない。不満の声を聞け！
- 基本動作の簡素化・見直しをすること。
- 現時点変更するつもりはない。

次回第8回団体交渉は議論を踏まえた回答となります。